第14章 環境マネジメントシステムの推進

第1節 高岡市地球温暖化対策実行計画の取り組み

本市ではこれまで、市役所の事務事業を対象として、「地球温暖化防止高岡市役所実行計画(第5次)」(計画期間 2017年度~2030年度)に基づき、電灯・OA機器の節電、両面コピー・再生紙の利用拡大、冷暖房温度管理の徹底、公用車のアイドリングストップ運動など環境に配慮した取り組みを実施し、温室効果ガスの排出削減に努めてきたところ。

1 カーボンニュートラル実現に向けた温室効果ガス排出量削減目標

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、その原因となる温室効果ガスの排 出削減のための世界全体での取組が求められている。

2023年に開催されたCOP28(国連気候変動枠組条約第28回締約国会議)では、パリ協定下で初めてパリ協定の実施状況を進捗・評価するグローバル・ストックテイク(パリ協定の長期目標の達成に向けた世界全体の進捗を評価する仕組み)に関する決定が行われ、気候変動による地球全体の気温の上昇を1.5℃に抑えるためには、緊急な行動が必要であること、また世界全体の温室効果ガスの排出量を2030年までに43%、2035年までに60%削減する必要があることが強調された。

国では、2021年6月に地域脱炭素ロードマップを策定した。このロードマップでは、地方創生に資する脱炭素に国全体で取り組み、さらに世界へと広げるために、特に2030年までに集中して行う取組・施策を中心に、地域の成長戦略ともなる地域脱炭素の行程と具体策を示している。(国においては2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比46%減の水準にすることを削減目標としている。)また、2021年5月に改正地球温暖化対策推進法が成立し、「2050年までの脱炭素社会の実現」を法律に明記した。2022年度現在、国全体では温室効果ガス排出量を2013年度から約20%削減し目標に向けて着実に削減を進めている。

本市では、2023年3月に、高岡市地球温暖化対策実行計画(計画期間 2023年度~2030年度)を策定し、計画は、市全体を対象とした「区域施策編」と市役所の事務事業を対象とした「事務事業編」(地球温暖化防止高岡市役所実行計画(第5次)を全面改訂。)から成っている。「区域施策編」では2030年度まで2013年度と比較して、市全体で温室効果ガス排出量の51.6%削減を目指し、同様に「事務事業編」では市の事務事業において60%以上の削減を目指している。

また、2023年11月、本市は国の「脱炭素先行地域(第4回)」に選定され、主に高岡駅前中心市街地エリア、福岡金属工業団地において、先行的に中心市街地の脱炭素と地域における資源循環を推進するものとしている。あわせて、2023年12月、本市はゼロカーボンシティ宣言を行い、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明した。

これらを踏まえ、本市では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速させていく。

2 取組実績

令和6年度の市の事務事業に関する温室効果ガス(二酸化炭素換算)排出量は、25,408t- CO_2 で、基準年度2013年度(平成25年度)に比べて57.3%減少(34,046t- CO_2 減少)し、現段階では、2030年度(令和12年度)の国の目標である46%減(32,105t- CO_2)を達成しているが、実行計画の目標である60%減(23,782t- CO_2)には至っていない。

今後とも、一層の温室効果ガスの削減に向けて、電力使用量や二酸化炭素以外の温室効果ガスの量の削減等の省エネルギー対策の推進に努めていきたい。

	ᄱᆖᄮᄪᅶᆿ		* /11A	ナルダックサニい	∞ ⇔/≠
11	温 全効 未 川 人	(二酸化炭素換算)排出量等	羊 (刈)豕)	,四国统创主洲部)	ひまった

			ラストシェルは	7 - 7 - 7 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17
取組項目	H25年度 (2013) 基準年度	R5年度 (2023) 実績	R6年度 (2024) 実績	R12年度 (2030) 目 標
温室効果ガス総排出量 (t-CO ₂)	59, 454	25, 314	25, 408	国の削減目標
(1) 電力使用	30, 909	16, 199	16, 373	46%減
(2) 冷暖房等燃料使用	8, 984	7, 147	6, 971	32,105 t に相当
(3) 公用車燃料使用	880	693	673	(高岡市地球温暖 化対策実行計画
(4)一般廃棄物に混入する廃プラスチック類の焼却	16, 101	_	_	目標 60%減 23,782 t に相当)
(5)二酸化炭素以外の温室効果ガスの量	2, 580	1, 275	1, 390	
用紙類使用量(千枚)	22, 152	24, 132	24, 269	21,487以下
再生紙の使用割合(%)	96. 4	93. 2	94. 1	95.0以上
水道使用量 (千m³)	541	423	393	524以下
可燃ごみの排出量(t)	576	470	456	558以下

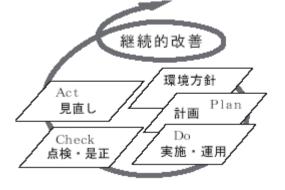
第2節 環境マネジメントの取り組み

本市では、環境に配慮した取り組みの実効性を確保するとともに、より一層の充実を図るため、平成14年度より環境マネジメントシステムを構築し、事務事業における省資源・省エネ活動、環境に配慮した公共工事、環境保全事業を実践することによって、環境負荷の抑制に努め、持続可能で活力ある「環境共生のまち 高岡」の実現を目指すものである。

1 本市システムの概要

本市の環境マネジメントシステムでは、「高岡市の環境方針」に基づき市独自の環境マネジメントマニュアルを策定し、目的・目標・プログラム等を定めシステムを運用している。

環境マネジメントシステムの枠組み(PDCAサイクル)



環境マネジメントシステムの対象として、平成20年度より、従来の本庁舎に加え福岡 庁舎も対象としている。

環境目標は、次の3つの柱で構成されている。

- (1) 省資源、省エネルギー、リサイクルの推進
- (2) 建築・土木工事に係る環境配慮
- (3) 環境保全対策の充実と緑化の効果的推進

2 実績

(1) 省資源、省エネルギー、リサイクルの推進

エコオフィス活動の実施状況は庁舎の電力使用量、用紙使用量、庁用車エコカー台数 について前年度から改善することができたが、引き続き庁舎の使用エネルギー(都市ガス量)、庁用車ガソリン量、庁舎水道使用量の削減及びノーマイカーデーの推進等についても取り組みの強化を図っていく。

□ 省資源・省エネルギー等の実績

取 組 項 目	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	目標
庁舎の使用エネルギー (本庁舎・旧福岡庁舎) 原 <u>油換算量(k</u> l)	510	531	521	庁舎の使用エ ネルギーを毎
主な内訳: 電力使用量(千kWh) 都市ガス量(千㎡)	電力 1,633 都市ガス 80	電力 1,670 都市ガス 89	電力 1,621 都市ガス 92	ホルヤーを毋 年1%削減
庁用車ガソリン量 (本庁・出先) (千ℓ)	53	52	50	毎年1%削減
庁舎水道使用量(千㎡) (本庁舎・旧福岡庁舎)	16. 1	16. 1	14. 3	毎年1%削減
用紙使用量(千枚) (本庁舎・旧福岡庁舎)	6, 638	6, 998	7, 349	毎年1%削減
庁用車エコカー台数(台) ハイブリッド(HV)・電気(EV) ・バイオディーゼル(BDF)		10 HV乗用:6 HVごみ収集:2 電気:2	13 HV乗用:6 HVごみ収集:2 電気:5	増加を目指す
ノーマイカーデー参加 (回/月・人)	0.7~1.3	0.8~1.4	1.0~1.2	増加を目指す

(2) 建築・土木工事に係る環境配慮

設計金額が3,000万円以上の工事について、排出ガスなど周辺環境に及ぼす影響の削減、及び節水型施設など環境配慮型の公共事業の推進に配慮した。

□ 環境に配慮した公共工事の推進について

- ① 周辺環境に及ぼす影響の削減
 - ア ばい煙発生設備の排ガス抑制
 - ウ 排出ガス削減及び騒音・振動の削減
- ②環境配慮型の公共事業の推進
 - ア 筋水型施設の検討
 - ウ 自然エネルギーの活用
 - オ 熱帯雨林材の使用抑制

- イ 周辺環境に配慮した工事の施工
- エ 建設廃材の適正管理
- イ 建物負荷の抑制
- エ オゾン層破壊物質の排出抑制
- カ リサイクル対策、建設廃棄物の少ない施工技術及び施工方法の採用
- キ 建設副産物のリサイクルの推進
- ク 建設副産物の再利用(再生資材の使用) など

□ 年度毎の対象工事

令和4年度

令和5年度

令和6年度

計42件

舗装工事(2件 福岡にぎわ い交流館多目的広場外整備 工事他)、建築工事(6件 高岡西部中学校区統合小学 校校舎改修及び増築工事 他)、土木工事(6件下伏 間江福田線土留工事他)、 管工事(2件 高岡西部中学 校区統合小学校校舎改修及 び増築機械設備工事他)、 上下水道施設工事(19件 国 吉配水場送配水管布設替工 事他)、解体工事(1件旧 高岡市民会館解体工事)、 電気設備・機械設備工事 (6件 高岡市民病院中央監 視装置更新工事他)

計43件

舗装工事(3件 本領下老子 線舗装工事他)、建築工事 (4件 高陵中学校区小中一 貫校校舎新築及び改修工事 他)、土木工事(6件下伏 間江福田線土留工事他)、 管工事(3件高陵中学校区 小中一貫校校舎新築及び改 修機械設備工事他)、上下 水道管渠工事(17件 野村地 内配水本管布設替工事 他)、解体工事(4件 高岡 市立两条小学校解体工事 他)、機械器具設置工事 (1件 五位第1送水ポンプ 場・第2送水ポンプ場機械 電気設備工事)、電気・電 気通信工事(4件高陵中学 校区小中一貫校校舎新築及 び改修電気設備工事他)、 さく井工事(1件 末広町本

計51件

舗装工事(3件 高岡市イベ ント広場人工芝改修工事 他)、建築工事(5件 高岡 市消防本部·高岡消防署庁 【舎改築工事他)、土木工事 (11件 下伏間江福田線立体 交差整備Ⅱ期その2工事 他)、管工事(3件高岡西 部中学校区小中一貫校校舎 増築及び改修機械設備工事 他)、上下水道管渠工事 (19件 野村地内(重要施 設) 配水本管布設替工事 (本工事2)他)、水道施 設工事(1件新五位配水池 ・五位第2送水ポンプ場躯 体設置工事)、機械器具設 置工事(2件 四屋浄化セン ター用水設備外1改築工事 他)、電気工事(4件高岡 市消防本部·高岡消防署庁 舎改築電気設備工事他)、 造園工事(3件 牧野河川公 園多目的広場2整備その1 工事他)

(3) 環境保全対策の充実と緑化の効果的推進

高岡市環境基本計画に基づき、環境関連事業のマネジメントを行った。

令和6年度に関する主な実績は次頁以降の表(環境保全対策の推進)のとおりであり、 今後とも内容の改善や充実に努めてまいりたい。

丸町線消雪井戸設置工事)

□ 環境保全対策の推進

環境目的	環境目標プログラム	主な実績						
	(1)安全で健康的	- · ·						
	に暮らせる生	○環境監視や、事	業所等への	調査・指導	算など、.	良好な環境の		
	活環境の確保	形成に努めた。			 1			
	① 大 気 環 境 の 保全		R4年度		年度	R6年度		
	②水環境の保	SO ₂ SPM	全て適合 全て適合		適合適合	全て適合		
	全	大 NO ₂	全て適合		適合	<u>全て適合</u> 全て適合		
	③水資源・土	与	<u></u>		合	適合		
	壌環境・地		注意喚起発令な		発令なし	注意喚起発令なし		
	盤環境の保	染 OX	94%の時間を		時間帯	96%の時間帯		
	全		で適合		適合	で適合		
	④騒音・振動の防止	大気汚染注意報	発令なし		なし	発令なし		
	⑤有害化学物	河川水質	全て適合		適合	全て適合		
I安全で	質対策の推	地下水水質	全て適合		適合	全て適合		
健康的に	進	自動車騒音 (地点評価)	全時間帯適で 地点は100%		帯適合 は83%	全時間帯適合 地点は100%		
暮らせる		音自動車騒音	昼夜とも適合		も適合	昼夜とも適合		
生活環境		(面的評価)	地点は97.19		97.6%	地点は98.7%		
のまちを		ダイオキシン	大気、河川、	地 大気、注	可川、地	大気、河川、地		
めざす		グイオインン	下水とも適く	合下水と	も適合	下水とも適合		
		○公共用水域のオ	《質環境改善	のため、グ	、共下水	道の整備促進		
		に努めた。			1			
		一 1.)	R4年度	R5年度	R6年			
		下水道処理 人口普及率	93.1%	93.2%	93.4%	88までに 93.8%		
		下水道水洗化		0/		DOまでに		
		人口普及率	95.6%	95.7%	95. 9%	97. 7%		
		○下水道の計画が		の住宅用合	併処理治	争化槽への		
		設置補助を実施						
		入 / H JH JH JA JI Ja	R4年度	: R 5	年度	R6年度		
		│合併処理浄化槽 │設置補助件数	10		8	10		
	(1)低炭素型まち	以 自用功门						
	づくりの推進							
	①省エネルギ							
	一化の推進							
	②再生可能工	○市事業に関連す	る二酸化炭素	素の排出量	削減に勢	努めた。		
	ネルギーの				R6年度			
Ⅱ環境へ	導入や環境 にやさしい	市事業の温室効				R12までに		
の負荷の	エネルギー	ガス排出量(t-C0	26, 102	25, 314	25, 408			
少ないエコライフ	の利活用の	L ○公共施設への太	- 17月 山/ 3次 信念 こ / :	<u> </u> フテルの道	1 かん/	(t-CO ₂)以下 字田士四业系		
コライフスタイル	推進	電システムの影			テノヘイ仕	七用瓜肠兀兜		
のまちを	③地球温暖化	E 7 / / N 0 / D	R4年度		R6年度	王 目標		
めざす	防止に向けた市民生活	住宅用太陽光発						
	や事業活動	設置補助(kW)	7, 784	7, 985	8, 132	R8までに 8,200kW		
	の推進	【発電能力の累割	+]			0, 200KW		
	④地域から取							
	り組む森林							
	保護対策の							
	推進							

	(2)循環型推進 ま進率の (1)資 R 日 (1)資 R 日 (2) ・進食食 (3) 展の推進 (3) 展 (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	○循環型まちて や、廃棄物道 ごみ排出量(t) (集団回収分 含む) ごみのリサイ ル率(%)	6正処理のR4年を 57,2	推進に 度 R 74 5		•	9 R9までに 58,334t以下 R9までに
	ルギーの有 効利用 ④廃棄物適正 処理の推進	ごみの最終処 量(t)	分 5,96	57 5	5, 943	5, 951	R9までに 5,563t以下
Ⅲ歴化育くめ が文りいを が文りいを	(1) 花とは の	○ 身近な緑を活 学か取)の関積為事地 で植 でが組 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一ででは、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一	かした美 R4年度 20 6,623		度 R	6 年度	E。 目標 R13までに26校 R8までに 累計25,000㎡
		合計 (累計) グリーンキー パー数 (人)	314	323		307	 R13までに342人
		花いっぱい連 盟の花苗配布 数(累計)	54, 889 苗	48, 040	6苗 44	1,493苗	R8までに 52,817苗

		○歩いて楽しい鬼					
		地の活性化、歴史、文化資産の観光資源活用、公共交通機関 の利用促進などに努めた。					
		19/19/11/22/23/21/6	R4年度	R5年度	R6年度	目標	
	(2)歩いて楽しい	公共交通機関利 用者数(万葉 線)(千人)	1,002	1, 071	1, 090	R9までに 1,156千人	
	魅力あるまち づくりの推進 ①快適に移動 できるまち	中心市街地にお ける歩行者・自 転車通行量(人 /日)	12, 217	12, 845	16, 880	R8 までに 15,000 人/ 日	
	づくり ②歴史、文化 資産 変化を活か したまちづ	市内主要観光地 入込客数(瑞龍 寺と高岡御車山 会館(万人/ 年))	13	15	14	R8までに23 万人/年	
	くり ③観光資源を 活用したま	観光客入込数 (万人) (1~12月)	276	351	313	R8 までに 396.5万人	
	ちづくり	○恵まれた美しい や特徴ある産業 を保全・活用す	きの場、交流 るため、	流の拠点が	つくる高岡	岡らしい景観	
			R4年度	R5年度	R6年度	目標	
		建築物等の修 景実績件数 (件)(累計)	11	13	10	R9までに 15件	
	(0) 关 1 1 1 十 4 6	○美しいまちづく区・美化協定の網	辞結など環境	竟美化活動の	の促進に努る	めた。	
	(3)美しいまちづ くり	R	4年度 F	₹5年度 1	R6年度	目標	
	①美しいまち づくり市民 総ぐるみ運	の参加者数			35,000人	8までに 5,000人/年	
	動の推進	○美しい都市景観				□ [□	
	②美しい都市		4年度	R 5 年度 I	R6年度	目標	
	景観の形成の推進	違反屋外広告 物等の是正 件数	10件	4件		8までに 0件/年	
	(1)生物多様性の 確保など貴重 な自然の保全	○自然に配慮した R4年度		型用排水路 R 5 年度		<u>こ。</u> R 6 年度	
N 自然の 恵みと共 生するま	①貴重な動物 ・植物・生 態系の保全 ②貴重な地形 地質の保全	該当工事なし		当工事なし		当工事なし	
生するおざす		○自然とのふれあ 進など、自然と	:のふれあい	ハの機会の	提供に努め	うた。	
			4年度 R	5年度 R	6年度	目標	
		都市農村交流 3.	, 239人 2	, 380人 3,	248人 増	加を図る	
L	L	L					

	(3)森林や農地などの保全・活	○里山整備事 に努めた。	業を実施し、	、森林整備、	管理、市民	組織の支援
	用 ①地域の特性 に応じり ②森林資源を 有効に活用	高岡市 里山交流 センター 利用者数	R4年度 4,654人	R5年度 6,507人	R6年度 7,305人	増加を図る
	イがに イがさる イでも くり 3 市民参加に よる森づく	環境保全型農業の 取組面積	62. 5ha	57. 5ha	63. 4ha	R7までに 56ha
	り ④環境を育む	広葉樹の 面積	3, 980ha	3, 980ha	3, 980ha	R9までに 3,995ha
	農地の保全 ⑤漁場環境の 保全	里山の再 整備面積	32ha	10ha	7 ha	R3までに 15ha
V高をらるめ環い持行まざ境関ち動ちすに心自すを	(1)行政・市民・事 業者の自主的な 活動の推進	○ では、	度 い 減講発 を高動発 で で で で で で で で で で で の で の の の の の の の の の の の の の	R5年度 立育品動、) コ市ると推一施岸の では、 1 では、 1 では、 2 では、 3 では、 3 では、 3 では、 4 では、 4 では、 5	「Richard Procession of the content of the cont	成 ロ は ス 間 は で は で で の の の の の の の の の の の の の
	(2)環境学習の機会 の提供促進 (3)環境情報の提供	○環境教育・ こどもエコ クラブ数	環境学習のI R4年度 33園	取り組みを支 R5年度 32園	援した R6年度 31園	目標 R5までに 33園/年

3 継続的な取り組み

環境マネジメントシステムに定める手順に従い、環境負荷の抑制に努めるとともに、持続可能で活力ある「環境共生のまち高岡」の実現に向けて、職員一人ひとりが自覚を持って実践・点検などを行い、環境の継続的改善に向けて一歩ずつ前進していくことが大切である。また、市のこのような取り組みが市民や事業者の環境に配慮した取り組みを促進し、環境負荷の少ない循環型社会の形成と地球環境の保全に大きく貢献することを期待するものである。

高岡市の環境方針

1 基本理念

高岡市は、庄川と小矢部川によって生じた平野部及び二上山や西部丘陵地帯からなり、清らかな水、きれいな空気や緑など豊かな自然環境に恵まれ、多彩な産業と 薫り高い文化をもつ県西部の中核都市として発展しています。

本市では、これまで市民の皆様や企業など各方面のご協力をいただき、この良好な環境の保全に努めてきています。

今日の環境問題は、地域の生活環境に影響を及ぼしたかつての公害問題から、地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模に拡がり、その影響が将来の世代に及ぶという深刻な状況になっており、その要因も複雑化しています。とりわけ、地球環境問題の解決には、大量生産・大量消費・大量廃棄という今日の社会経済システムやライフスタイルを見直すとともに、市民・事業者・行政がそれぞれの立場に応じた役割を果たすための活動が重要であると考えます。

高岡市では、温室効果ガスの削減に繋がる地球温暖化防止高岡市役所実行計画を 策定し、省資源・省エネルギーに向けた取り組みを推進しています。この計画の実 効性を確保し、環境に配慮した行動を実践するため、環境マネジメントシステムを 構築し、継続的に改善を図っていきます。また、具体的な環境目的・目標を明確に し、これらを定期的に見直すことにより、環境負荷の抑制に努めるとともに、高岡 市環境基本計画に掲げる持続可能で活力ある「環境共生のまち高岡」の実現を目指 します。

2 基本方針

高岡市役所は、自ら行う事務事業について、継続的に環境の保全に配慮して取り組みます。

- (1) 高岡市役所(本庁舎及び旧福岡庁舎)における日常業務活動については、地球温暖化防止高岡市役所実行計画に掲げる省資源、省エネルギー、リサイクルなどの取り組みを徹底します。
- (2) 環境に配慮した公共工事の推進に努めます。
- (3) 高岡市環境基本計画に基づき、環境保全施策をより効果的に推進します。
- (4) 本市に適用される環境関連法令等は、これを順守します。
- (5) 環境方針及び環境マネジメントシステムを全ての職員に周知します。